

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 21

NO 2 1

2 0 1 6 ・ 5 ・ 2 8

1 連邦大臣シュミット：牛乳価格低下に関し牛乳首脳会議を招集

連邦食料・農業大臣シュミットは、2016年5月30日ベルリンの連邦省に、牛乳首脳会議を招集する。この会議の目的は、価値創造チェーン（バリューチェーン）のあらゆる参画者を、更なる支援と長期的な戦略を協議するために、1つのテーブルに呼び寄せることである。なぜならば：牛乳市場での拒否的な状況での問題解決の鍵を、市場関係者の手中に自ら抱えているからである。その際、政策は支援する。

大臣とのトップ会談には、農業、酪農工場そして小売商の代表者が予定されている。連邦省は、既に首脳会議の前哨戦において、各分野の多数でもって可能な問題解決策について意見交換した。この困難は、食料についてロシアの通商禁止並びに石油輸出国及び中国での需要低下から、もたらされている。牛乳割当量廃止 10 年後の調整期間中は、市場はまさに困難な適応段階にある。連邦大臣シュミットは、首脳会議の視点でもって該当する経営を、“早急にそして直接的に支援”し、我々の農民的農業維持のために、闘うことを強調した。

農民的農業は、ドイツに不可欠である。このことは大臣の言葉によれば、食料の確保に責任あるだけでなく、景観・文化保護、農村における就業の場確保と社会構造のために寄与する。シュミットは、牛乳市場のリスクを、“公正に分担”されねばならないと述べた。必要なことは、各自が責任を担うことである。さらに低下する牛乳価格は、牛乳農家の経済状況を先鋭化させ、そして多くの農場を大きな挑戦の前に立たせる。価格低下の背景は、牛乳の市場への過剰供給である。このことは、ドイツのみならずEU域内と世界的にも認められる。

## 2 牛乳の低価格—この状況に関連した質問と回答

さらに低下している牛乳価格は、牛乳生産農家の経済状況を先鋭化させている。この状況は、多くの農場に大きな試練を与えている。連邦大臣シュミットは、特にこの背景のもとに 2016 年 3 月 30 日に、牛乳首脳会議を招致した。

- ◇ ドイツの牛乳農家に関する状況はどのような困難か？
- ◇ 牛乳価格低下の理由はどこにあるのか？
- ◇ ドイツは他の EU 加盟国よりも強くこの状況に陥っているのか？
- ◇ ヨーロッパはなぜ牛乳割当量システムに簡単に戻らないのか？
- ◇ ブリュッセル（訳注・EU 委員会）は何を企画しているのか？
- ◇ ドイツ連邦食料・農業省は何を支援するのか？
- ◇ 消費者はどのような役割を果たすのか？
- ◇ EU レベルで次の歩みはなにか？

牛乳首脳会議の目的は、価値創造チェーン（バリューチェーン）への全ての参加者（つまり、農業者、酪農工場そして流通）が、さらなる支援と長期的な戦略を協議するために、1つのテーブルにつくことである。なぜならば：根本的な解決策は、市場を通じてそして政策支援をもって、市場参加者によって自ら実践されねばならない。

### **キーワード：ドイツにおける牛乳生産**

- EU の 28 加盟国の中で、ドイツは約 20%の牛乳生産者を有している。
- ドイツにおいて 4 人に 1 人の農業者が乳牛を飼育している。
- 比較的高い牛乳生産量と 2015 年に牛乳生産割当量の終了を背景に、牛乳生産量が 2008 年以来約 14%増加した。
- 増加する牛乳量に直面して、ドイツ酪農業の乳製品の貿易が、益々重要性を増している。

- ◇ ドイツの牛乳農家に関する状況はどのような困難か？

ドイツの牛乳経営数は、2000 年以来ほぼ半分となった。現在ドイツには、73,300 の乳牛飼育者が存在している。2000 年には、139,000 の乳牛飼育者であった。この経営に係る昨年の価格進展を含めて、市場状況にどう挑戦するか？

2016年3月の最近の公表の後、生産者価格が慣行農法で生産された牛乳が、kg当たり25,83セント（約33,6円）であった。それ以来、価格傾向は全体的にさらに低下している。有機農法で生産された牛乳について、基本的に高い価格が支払われている。有機農法そして慣行農法で生産された牛乳の揺れている平均価格（混合した価格）は、3月にkg当たり27,21セント（約35,4円）であった。2015年3月に牛乳割当量の中止前に資金を投入した経営は、特に困難に遭遇している。その経営は収入が低下している間にその借入金を、返済しなければならない。

ドイツにおける牛乳の生産者価格の推移  
(セント/kg 付加価値税含まず 農場からの価格)

牛乳価格	2000	2001	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
慣行農法	28,04	34,93	26,22	41,65	33,60	21,94	27,14	35,61	28,86	41,15	31,09	27,54	25,83
有機農法	30,00	32,82	27,35	33,46	33,84	24,08	30,83	34,83	31,93	37,51	37,58	29,29	未

◇ 牛乳価格低下の理由はどこにあるのか？

ドイツだけでなく EU 一域内そして世界的にも、市場で多くの牛乳量を調整している。食料のロシアへの通商禁止並びに石油輸出国と中国の需要減少が、さらに困難をもたらしている。世界市場への牛乳と乳製品の供給が、需要を上回っていることが全てである。このことは、困難な適応段階において牛乳割当量の終了10年後に、改正する状況にある。

◇ ドイツは他の EU 一加盟国よりも強くこの状況に陥っているのか？

現在、牛乳の価格は全ての EU 一加盟国が低い状況にあり、特にバルト諸国において低下している。ドイツとフランスにおける牛乳価格は、EU 平均値にほぼ近い。それに対してアイルランドのような、高い輸出割合を有する国々において、ドイツの価格よりもなお安い状況にある。

◇ ヨーロッパはなぜ牛乳割当量システムに簡単に戻らないのか？

乳製品は、国際的に取引されている。ヨーロッパは、牛乳生産を制限しており、同時に他の国々がこの隙間を、再び満たすことを見込んでいる。牛乳割当量システムに戻ることは、問題の解決にはならない。これは農業者にとって、良く機能しなかった。なぜならば、牛乳割当量でもって価格変動をもたらされた。牛乳割当量は農業収入を安定させ、そして小規模経営を確保することが出来なかった。割当量の公的な量の調整は、例えば2009年に今日の水準以下となり、2014年にも牛乳の価格低下を回避出来なかった。割当量は、成果の歴史ではなかった。そして最早成果を挙げ得ない。

◇ ブリュッセルは何を企画しているのか？

ヨーロッパ委員会は、2016年3月に期限付きの任意の共同での、原料乳生産制限を認めた。これは、EU-農業大臣会議の要請に応じたものであり、このテーマに関してドイツフランスの見解表明で、中心に取り上げられていた。

実践する農業組織は、生産者組織とその中央組織、専門分野の団体と協同組合（酪農工場）である。これらは一時的に相互に取り決めし、乳量を共同で調整できる。生産者は国の直接的な介入無しに、責任を担うことができる。個々の加盟国は、域内市場の機能性を損なうこと無く、そして牛乳市場の安定を目指している。ドイツでは現在、農業市場構造法の改正を行っている。

◇ ドイツ連邦食料・農業省は何を支援するのか？

連邦大臣シュミットと連邦政府は、牛乳市場における困難に対する反応として、一連の政策を遂行し、そして牛乳首脳会議を招致した。

- ① 市場構造は、価値創造チェーン（バリューチェーン）の内部で、牛乳農家の適応性と立場を改善しなければならない。なぜならば：現在、チェーンの最も弱い構成メンバー（農業者、販売店そして酪農工場）が、困難に遭遇している。これは、2015年3月30日に連邦政府における牛乳首脳会議のテーマでもあった。より良い供給調整のために、目下農業市場法を議会審議に付している。生産組織と酪農工場が、将来的に6カ月の牛乳量の削減または制限のための取り決めを決定できる。
- ② 該当する牛乳生産農家は、補充的な支援でもって困難な段階の中で、支援されねばならない。そのため、7,000万ユーロ（約91億円）の支払い能力強化プログラムと、農業者の事故保険についてより強い負担軽減する1億7,800万ユーロ（約2,31億4,000万円）を通じて、さらなる支援を行う。連邦大臣シュミットは、さらにEU-レベルで今年もさらなる支払い能力強化プログラムに尽力する。
- ③ シュミットは、経済的な努力つまり新しい輸出市場を開拓し、そして今ある貿易障害を除去することで支援する。
- ④ ドイツ連邦政府は、商品先物市場でのリスク回避を支持する。ここでは、酪農工場が積極的になるべきである。小規模個別経営のために、商品先物市場の安全確保が困難であるから。連邦政府は、農村地域の強化のためにも、農業を中一長期的に支援する。「農業構造と海岸保全の改善」のための適応法は、特に小規模経営の補完的な奨励を、議会手続きの中で計画される。

⑤ 消費者はどのような役割を果たすのか？

現在の牛乳生産農家の経済状況を改善するために、部分的に消費者もまた責任を担うことが重要である。

アンケートの中で地元産物、または高い家畜保護水準に大きな価値を置いているのに対し、店のカウンターでは常にそれが反映されていない。各消費者が結局は、ドイツの高品質牛乳に46セント支払わないことが、明らかである。

⑥ EU 一レベルで次の歩みはなにか？

農業特別委員会は、農業市場のテーマをさらに追及する。EU 一理事会は、遅くとも6月会議で新たにに取り組むこと。その際、特に危機への備えの利用も含めた、補完的なEU一財源の活用を議論する。

このテーマでのさらなる情報

”我々の品質的に高価値な牛乳は、安い価格で投げ売りされるべきではない”

3 2017年度有機農業コンクール：成果多い経営構想を募集

連邦食料・農業省は、2017年度連邦有機農業コンクールのスタートの号砲を發した。”有機農業は、慣行農業と並んでドイツの農業―食料の重要な柱である。コンクールの優勝者は、毎年新たにドイツにおける有機農業の力強さ、多くの可能性と豊かなアイデアをもたらすことを立証する”と、連邦大臣シュミットは、2017年コンクールの幕開けで述べた。

参加を希望する有機農業者は、革新的なそして将来を指し示す経営構想でもって、自らの理念を提出することができる。実践において実証された優れた構想を、募集する。この構想は、経営全体を包括するか、または個々の分野をカバーするものである。例えば、家畜飼育、自然―資源保護またはエネルギーマネジメントにおける問題解決といったような。このコンクールへの参加資格は、最低2年間EU―法規定によって、有機農業について証明されている全ての経営である。

前提条件は、経営全体が有機経営されていることである。経営は、加工一販売経営との結びつきもまた評価される。選考された勝者は、7,500 ユーロ（975,000 円）の償金を手にする。総額の賞金は、22,500 ユーロ（約 2,925,000 円）準備されている。これは、中立の審査委員会が最大3つの勝者に授与する。募集締め切りは、2016年6月30日である。

2016・5・31 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
----------------------------------